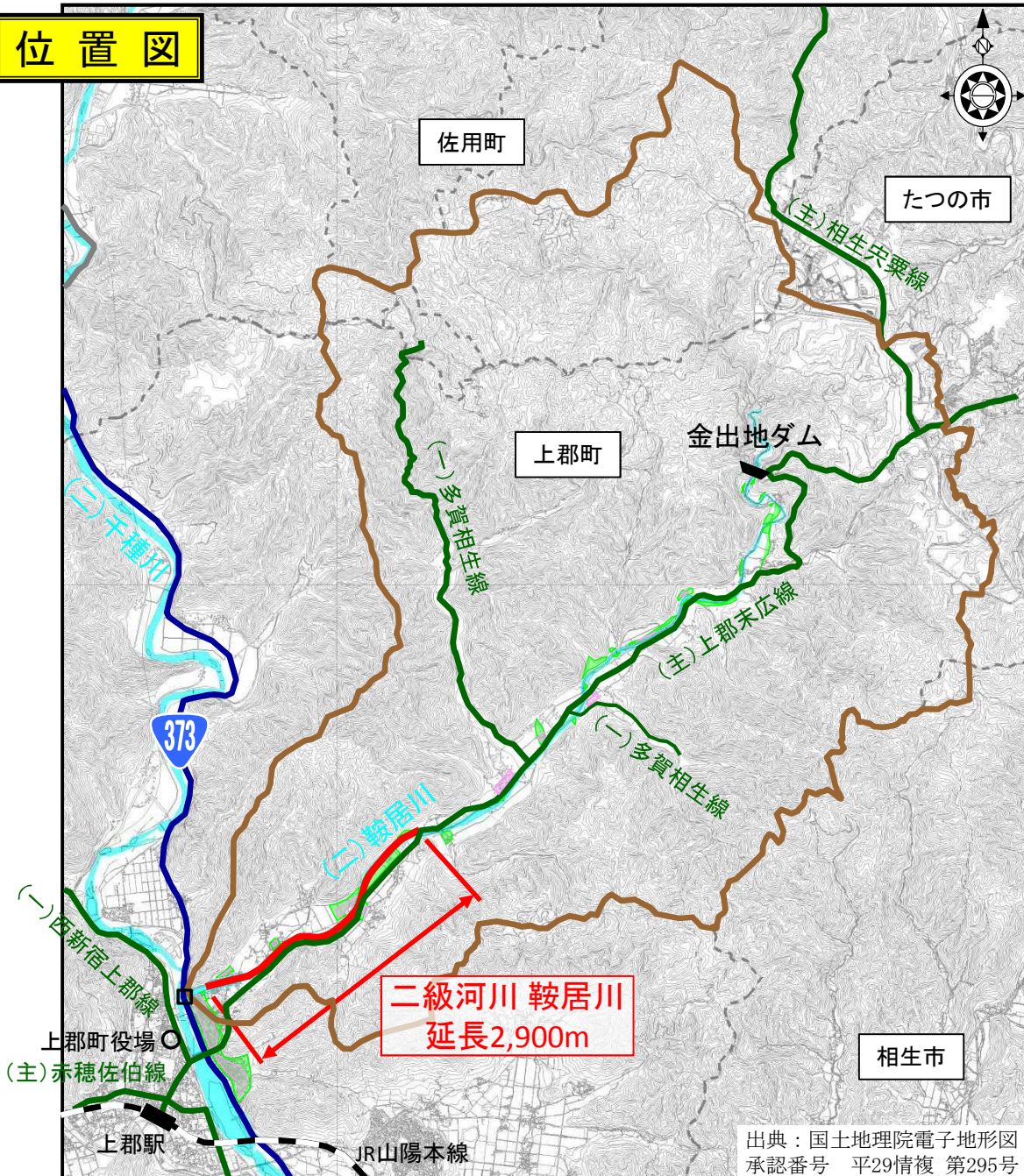


投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 合田 仁 (企画整備班主幹 藤田 幸治)	内線	4408 (4437)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
河川事業	二級河川 千種川水系鞍居川 広域河川改修事業	赤穂郡 上郡町 上郡～尾長谷	9.8 億円	－ 億円	平成 30 年度	平成 34 年度
事業目的			事業内容			
河川整備計画に基づき、平成16年台風第21号と同規模の降雨で発生する洪水に対して浸水被害を軽減するため、当該事業を実施し、早期に流域全体の治水安全度を向上させる。			計画流量 350 m ³ /s (基準点：建武橋) 現況流下能力 158 m ³ /s 整備延長 2,900m 河道掘削 2,000m 築堤(ハ°ラ°ット) 550m 統合井堰 2基(現況5基) [負担割合 国:50%, 県:50%]			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	① 昭和51年、平成16年に甚大な浸水被害が発生している。〔鞍居川流域〕 ・昭和51年台風第17号〔床上浸水57戸、床下浸水370戸〕 ・平成16年台風第21号〔床上浸水130戸、床下浸水281戸、浸水面積48ha〕 ② 事業箇所の現況流下能力は、158m ³ /s(千種川合流点より 2.3 km上流付近)であり、金出地ダム建設後の計画流量 350m ³ /s に対し 192 m ³ /s 不足している。 ③ 事業対象区間の沿川には家屋が密集し、上郡小学校等の公共施設や避難場所も隣接しているため、早期に治水安全度を向上させ、地域住民の安全・安心を確保する必要がある。					
(2) 有効性 ・効率性 (執行環境状況)	① 費用便益比 B/C=9.49 ※河川整備計画全体7.4kmの整備後 ② 今回は河川整備計画全体延長7.4kmのうち、下流部2.9kmの河川改修に着手する。上流部に建設した金出地ダムの洪水調節と合わせ、河川整備計画の目標洪水である平成16年台風第21号と同規模の降雨で発生する洪水に対し浸水被害の軽減を図り、地域住民の安全安心を確保する。 ・千種川水系河川整備基本方針は平成21年3月、千種川水系河川整備計画は平成24年6月に策定済み。 ・当該事業については地元からの早期事業着手の要望がある。					
(3) 環境適合性	河床掘削において、濬筋を可能な限り保全・復元することにより、生物の生活環境への影響を最小限にとどめる。					
(4) 優先性	① 河川整備計画において、上流部の金出地ダム建設と下流部の河川改修を位置付けている。金出地ダムの本体工を平成23年度～28年度で整備を完了させており、引き続き下流部の河川改修に着手し、流域全体の治水安全度を向上させる。 ② 平成16年台風第21号では、家屋が密集する下流部中心市街地で甚大な浸水被害が発生しており、治水安全度向上の優先性が非常に高く、早期の事業着手が必要である。					

位置図



- 凡 例
- : 浸水範囲 (S51.9台風第17号洪水)
 - : 浸水範囲 (H16.9台風第21号洪水)
 - : 流域界
 - : 国道
 - : 県道
 - : 事業区間
 - : 基準点 (建武橋)

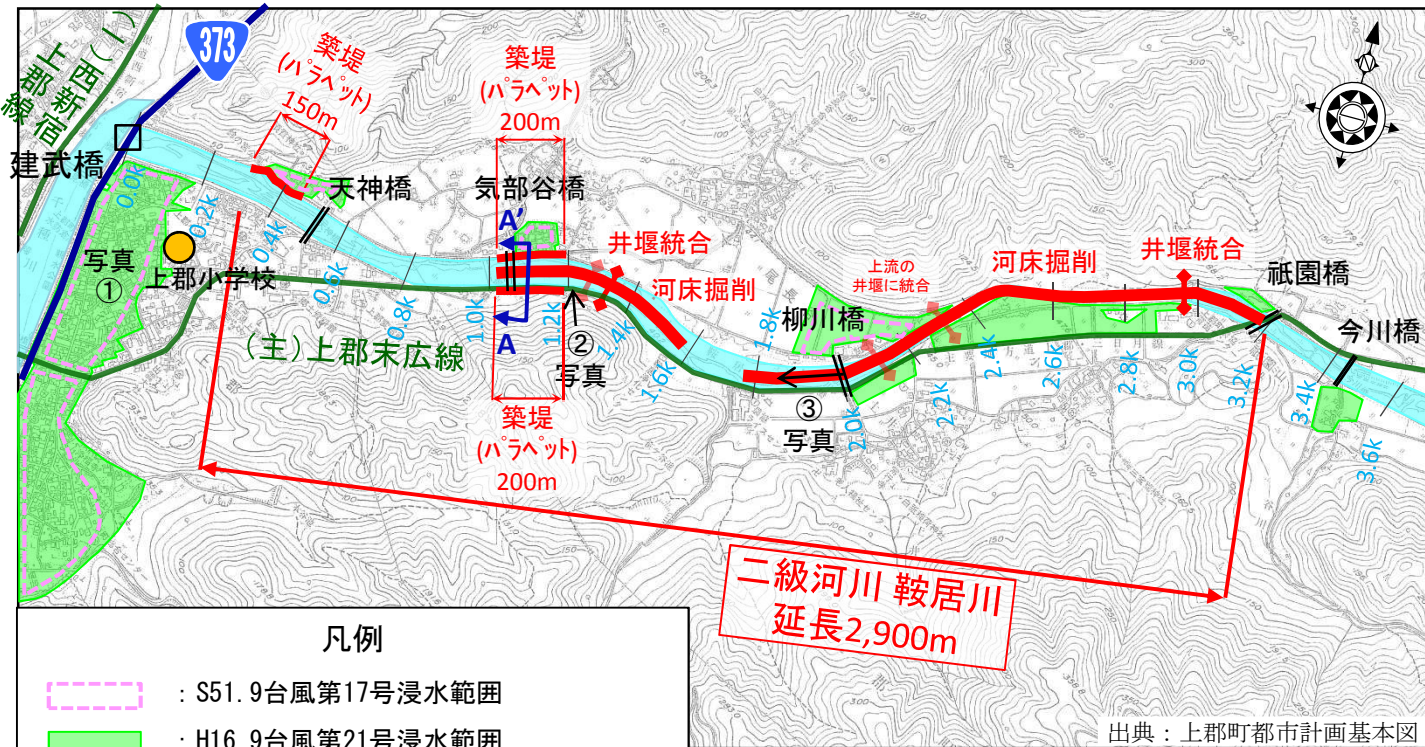
事業諸元

延 長 : 2,900m

総事業費 : 9.8億円

事業期間 : H30～H34

平面図

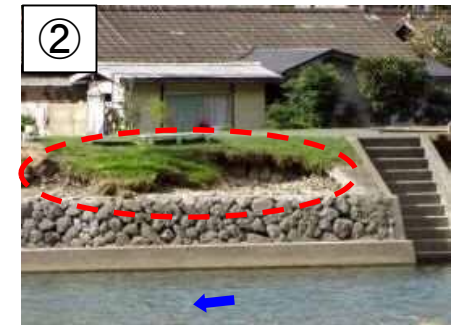


凡例

- : S51.9台風第17号浸水範囲
- : H16.9台風第21号浸水範囲
- : 整備箇所（築堤（ハラペット）、河床掘削）
- : 整備箇所（井堰）
- : 整備箇所（撤去統合される井堰）



① 下流左岸の浸水状況



② 1.2k右岸付近の被災状況



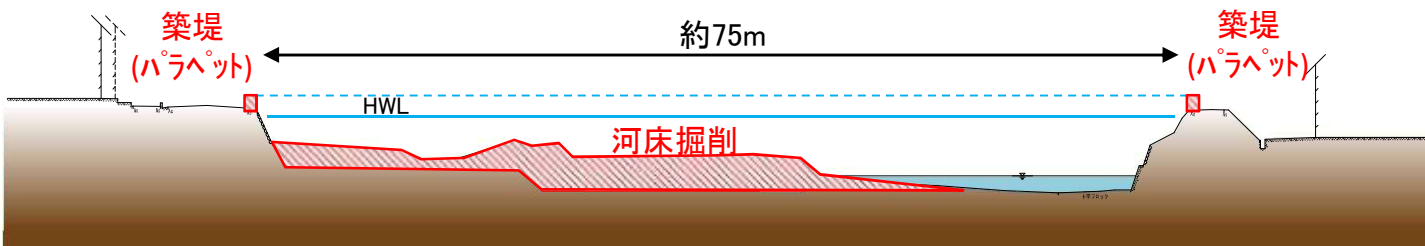
③ 河道内の状況（2.0k付近）

浸水実績（鞍居川流域）

発生年月	名称	浸水家屋数（戸）			浸水面積（ha）
		床上	床下	合計	
S51.9.8~13	台風第17号	57	370	427	—
H16.9.28~30	台風第21号	130	281	411	48

横断図

A-A'



1. スケジュール

	H30	H31	H32	H33	H34
測量・調査・設計					
築堤(ハﾟラハﾟット)					
井堰設置(2基)		右岸	左岸		
旧堰撤去(5基)					
河道掘削					

<凡例>

実施計画

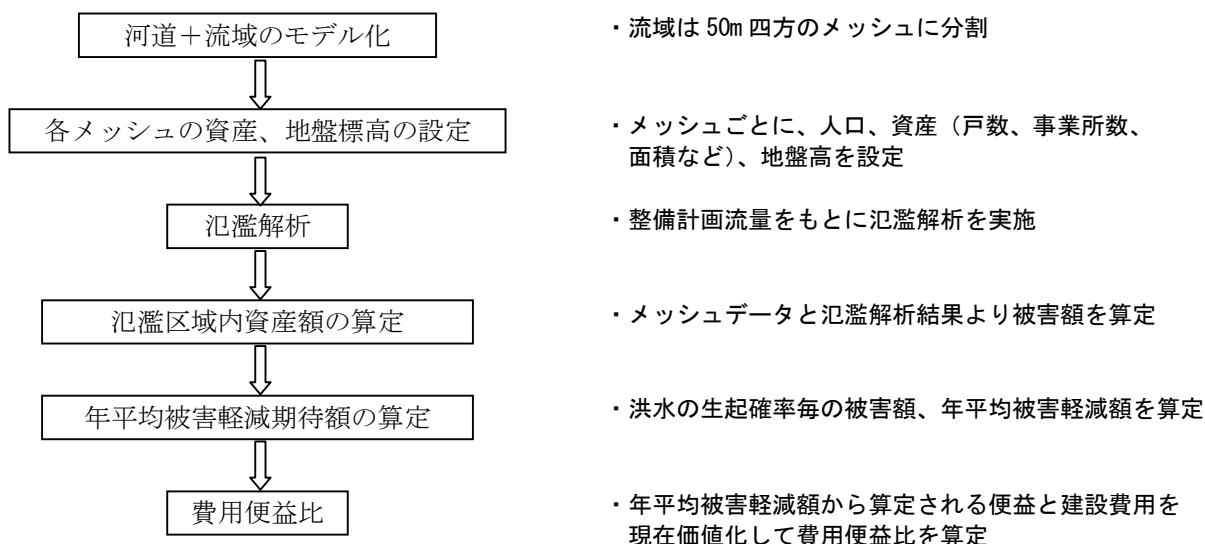
2. 事業効果について

(1) 費用対効果

①便益(B)の項目

- 1) 便益＝治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化被害額＝一般資産被害（家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等）＋農産物被害＋公共土木施設等被害＋営業停止被害＋応急対策費用
- 2) 費用＝「建設費＋維持管理費」を現在価値化

治水経済調査マニュアル（案）国土交通省河川局平成17年4月



②費用便益比(B/C)算出根拠

便益 (B)		費用 (C)			B / C
総便益費 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
24,530	浸水面積113ha解消	2,586	2,321	265	9.49

※鞍居川全域の効果

(2) 費用対効果に含まれない効果

<ol style="list-style-type: none"> ①人的被害の軽減 ②道路の交通途絶による波及被害の軽減 ③医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等への被害の軽減 ④ライフラインの停止による波及被害の軽減 ⑤水害廃棄物の発生の軽減 ⑥多様な生物の生活環境の保全・再生・創出
--

河川事業の効果

対象事業：広域河川改修事業 鞍居川

(1) 費用対効果

評価の視点	効果項目（費用対効果の便益内容）
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害 (家屋、家庭用品、事業所償却資産、 農業家償却資産等) ・農産物被害、公共土木施設等被害、 営業停止被害、応急対策費用 </div>

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
社会経済活動等の安定	人的被害の軽減	○ 浸水区域内人口 1,024 人、災害時要援護者 394 人を解消、最大孤立者（避難率 40%）320 人を解消
	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減	○ 県道 28 号（上郡末広線）の交通途絶を解消（交通量 3,342 台/日）
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減	○ 医療施設 1 施設の浸水被害が解消
	ライフラインの停止による波及被害の軽減	○ 電力停止による影響 280 人、ガス停止による影響 123 人、上水道停止による影響 34 人、通信（固定）の停止による影響 289 人の解消、通信（携帯）の停止による影響 222 人の解消
	水害廃棄物の発生の軽減	○ 水害廃棄物 604t、処理費用 16,915 千円の解消
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	○ <ul style="list-style-type: none"> ・河床掘削においては、現状の瀬・淵環境を保全する。 ・井堰改築にともない魚道を設置し、縦断的な連続性を回復する。
	親水空間の整備・景観への配慮	— —

※○印は当該事業効果の主な項目

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	地元自治会・上郡町から浸水対策や早期事業着手について要望書が提出されている。
-------	--